

第427回  
株式会社テレビ新潟放送網  
放送番組審議会

- 1 開催日時 2026年4月20日(月)  
2 開催場所 テレビ新潟本社  
3 委員総数 8人 出席委員 8人

出席委員

小原 清文 委員長	石井 宏明 委員
本宮 宏美 委員	迫 一成 委員
小山 厚子 委員	杉原 名穂子 委員
浜田 泰宏 委員	松山 悦子 委員

会社側出席者

代表取締役社長	正力 源一郎
取締役コンテンツ本部長	河野 修三
コンテンツ戦略局長兼番組審議会事務局長	小林 健
報道制作局長	中川 幹子
報道制作局次長	鈴木 英門
事務局	田中 泰輔 坂上 寿史

## 4 議 題

### 1) 講演・意見交換

「放送の自主自律と番組審議会の役割」

講師：日本民間放送連盟 常務理事 本橋春紀様

### 2) 会社報告

- ① 3月の視聴者の意見 (報告：番組審議会事務局)
- ② 講じた措置、議事概要の公表 (報告：番組審議会事務局)
- ③ 訂正放送、取り消し放送の有無 (報告：番組審議会事務局)

### 3) その他

## 5 審議の概要

日本民間放送連盟 常務理事 本橋春紀様から「放送の自主自律と番組審議会の役割」について講演が行われた。

(委員の意見・感想)

- 番組審議会の立ち位置について非常に深く考えさせられた。
- 番組を見て、率直に1人の人間として見たときに、不快な部分があるかないかという部分がとても大事だという気がしたので、番組審議会  
で伝えていきたい。
- 人権問題にどんどん取り組んでいくことに期待をしている。
- 外部から規制されるよりは、中の立場で自律的に批判しつつ補正して

いく組織が、日本人の体質に合っていると思った。

- 他の地域の番組審議委員会はどのようなことをしているか興味を持った。
- 番組審議会には歴史があって、放送事業者は自分たちを律しながら放送しているということを感じた。
- 今まで委員として自分がやってきたことが、はたしてよかったのかと思うくらい責任を感じた。
- 自主的に規制をするかしないかという部分は各社の判断で委ねられているというところは理解できた。
- 番組審議委員として、襟を正していかなければいけないと使命感を再認識した。

## 6 会社側の報告

### 1) 放送番組に関して申し出のあった意見の概要

3月……120件

### 2) 訂正放送、取り消し放送の実施状況

前回審議会の開催日(2026年3月16日)から、昨日(2026年4月19日)まで総務省に届け出た訂正放送、取り消し放送はありませんでした。

## 7 審議機関の答申または意見(前回審議会)に対してとった措置

- 1) 前回第426回審議会では、
- 2) 「そんなわけでここ（新潟）にいます。」を審議いただき、委員の意見は議事概要にて記者、制作スタッフ、社内に周知しました。
- 3) 番組審議会議事録を全社員、スタッフに共有しました。

## 8 今回の第427回放送番組審議会の公表

- 1) テレビ新潟本社、長岡支社、上越支局の県内事業所に議事概要の書面を準備します。
- 2) 当社のニュースで審議会の概要を放送します。
- 3) TeNYホームページに議事概要を掲載します。

## 9 参考事項（委員への配布資料）

- ・第426回番組審議会議事録
- ・3月の視聴者からの意見、問合せ等の集計表
- ・BPO報告（NO. 287）

以上